

令和元年9月26日 00449号

編集者:佐藤寿春

北見武道通信

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】道振興協会事務局の花シリーズ 番外編「茸物語?」

8月31日(土)利用者(愛称:茸博士)さんからキノコを頂きました。武道館の周りに生えているとのこと。傘裏がスポンジで柄が網目模様になっているのが特徴で「傘の裏を軽く傷つけ変色しないのは安全な証拠」と茸博士は言います。調べると「ヤマドリタケ属の菌類、食用、美味しくて人気のキノコ」と出ていました。勇気を出して、バター・塩コショウ・醤油少々で調理してみると、とても美味しいことが分かりました。【メガネ紛失事件!】9月3日(火)休み時間を利用し、茸博士と待ち合わせて女性スタッフ2名も加わり東陵運動公園内でキノコとりをしたのですが、途中眼鏡がないことに気づきます。「忘れてきたのか」と思いながらキノコとりを続け武道館から直線で約200メートル地点で、ひとりの男性が「何か採れるの」と近づいてきます。採れたキノコを見せると「食べれるの?」というので、「差し上げますか」と云えば「結構です」と逃げ腰です。その後公園を1周して武道館に戻り、メガネを探しましたが見つかりません。自宅や事務所も無く、諦めてメガネ購入を考えました。翌日、女性スタッフの勧めでもういちど公園を探すこと



になりました。内心無駄だろうと思いましたがスタッフの熱意に負けて探すことになりました。【幸運の女神】スタート地点は武道館正面玄関から西に折れ白樺並木の第1ポイントに向かいます。昨日メガネを無意識に胸ポケットに入れ、実はこの場所でキノコを採る態勢で滑り落ちていたのです。しかしこの時点では見逃してしまい次のポイントに向かいますが、いくら探しても無駄なことはいうまでもありません。武道館から一番離れた2

00メートル地点でメガネを諦め真直ぐ引き返そうとした時、今度は一人の女性が話しかけてきました。昨日の男性と同じく「何か採れるのですか?」と聞いてきたのです。収穫したキノコを見せると「北海道って素敵ですね」とキノコも貰ってくれました。きくと鹿児島から来た看護学校の先生で、北見市で開催される災害看護学会で講演する高山理恵さんでした。もう眼鏡のことはすっかり忘れ、キノコの生えていた場所を案内して再度第1ポイントに戻った時、「有った!」と女性スタッフが声を高めました。「まさか」と半信半疑で見ると、まぎれもなく無くした眼鏡が無傷で太陽の光に輝いていました。1日放置されたメガネが二人の女性のおかげで見つかったのです。偶然(?)に出会えた高山さんと諦めないスタッフの強い思いが奇跡を起こしてくれました。二人の女神に感謝するしだいです。(佐藤)

連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿『剣法秘訣』より)剣術修行心得(26回目)

他流を真似るは、誠に嘆息の至りなり。又立ち合うとき、相手早く立ち上がらんとすれば、まだまだと声を掛け、始終相撲の立ち合いの如くす、右はつとと大息をつくは、動悸の早く納めんが爲なり。業に明らかなりとも、理に闇くはならぬことなり。又理に明らかなりとも、業に闇くはならぬ・・・つづく